島根原子力発電所　安全対策等の実施状況をお知らせします【２０２１年１２月】

原子力総合防災訓練の実施

- １２月９日，重大事故の発生を想定した，原子力総合防災訓練を実施しました。
- 約５４０人が参加し，関係機関との情報連携や安全対策設備を用いた重大事故対応訓練を実施しました。

【訓練の概要】

〇参 加 人 数：約５４０人（発電所：約３８０人，本社：約１３０人，支援拠点：約３０人）
〇訓 練 項 目：指揮命令訓練，代替注水訓練　等
〇想 定 事 象※：地震の発生（松江市で震度６弱以上の地震が３回発生）
その他要因による設備故障　等

※訓練参加者に想定事象を提示しない状態で訓練を実施。

島根原子力発電所

＜指揮命令訓練＞

発電所の情報を収集し，事故の進展予測や対応方針を検討・決定。
方針に基づき，対応要員の指揮命令を実施。

＜電源供給訓練＞

高圧発電機車を用いて電源機能を確保する活動を実施。
（車両配置，電源ケーブル敷設）

＜代替注水訓練＞

大量送水車を用いて原子炉の冷却機能を確保する活動を実施。
（車両配置，注水用ホース敷設）

連携　　支援

発電所外

指揮をとる清水社長（写真左）

本社（広島市）に，社長を総本部長とする緊急時対策総本部を設置。

支援要員の訓練風景

広瀬中央公園（安来市）に，発電所の支援拠点を設置。